

同窓会創立50周年記念号



星風

発行: 学校法人 加計学園
岡山理科大学附属高等学校同窓会

編集責任者: 瀬戸 昭次
〒700-0005 岡山市北区理大町1-1
Tel.086-256-8511

発行日: 2015年(平成27年)9月

同窓会設立50周年記念式典 開催決定!

同窓会名簿も新たに発刊!

1965(昭和40)年、前身の岡山電機工業高等学校・第一期生の卒業とともに設立された岡山理科大学附属高等学校同窓会。今年で設立50周年を迎えることになる。現在までに数多くの同窓生を輩出。同窓生は経営者、会社幹部、市町議会議員など、さまざまな分野で多岐にわたって活躍をしている。

来る10月18日(日)、ANAクラウンプラザホテル岡山において、岡山理科大学附属高等学校同窓会設立50周年記念式典を行うこととなった。1995(平成7)年に30周年記念式典

を開催して以来、約20年ぶりのこととなる。同窓会設立50周年にあたる今年こそは、節目の年として是非とも祝いたいという気運が高まっていた。同窓会にとっては久しぶりの大きな式典で、懐かしい恩師や来賓など、数多く来場の予定である。多くの同窓生がANAクラウンプラザホテル岡山に集まり、楽しく賑々しい式典になることが期待されている。

このほか岡山理科大学附属高等学校同窓会では、同窓会名簿を新たに発刊することも決定した。50周年記念式典でも配布す

る。また同窓会ホームページも開設。幅広い年齢層の交流の場と期待されている。現在ホームページでは、同窓会名簿への記載の可否を受け付けている(4面参照)。

岡山理科大学附属高等学校の母体となる加計学園の始まりは、1955(昭和30)年の広島英数学館の設立にさかのぼることができる。その後、1961(昭和36)年に学校法人加計学園が創設され、翌1962(昭和37)年に岡山電機工業高等学校が開校。1964(昭和39)年には岡山理科大学の開学と続く中で、ちょうど50年前に岡山理科大学附属高等学校同窓会が発足したのだった。



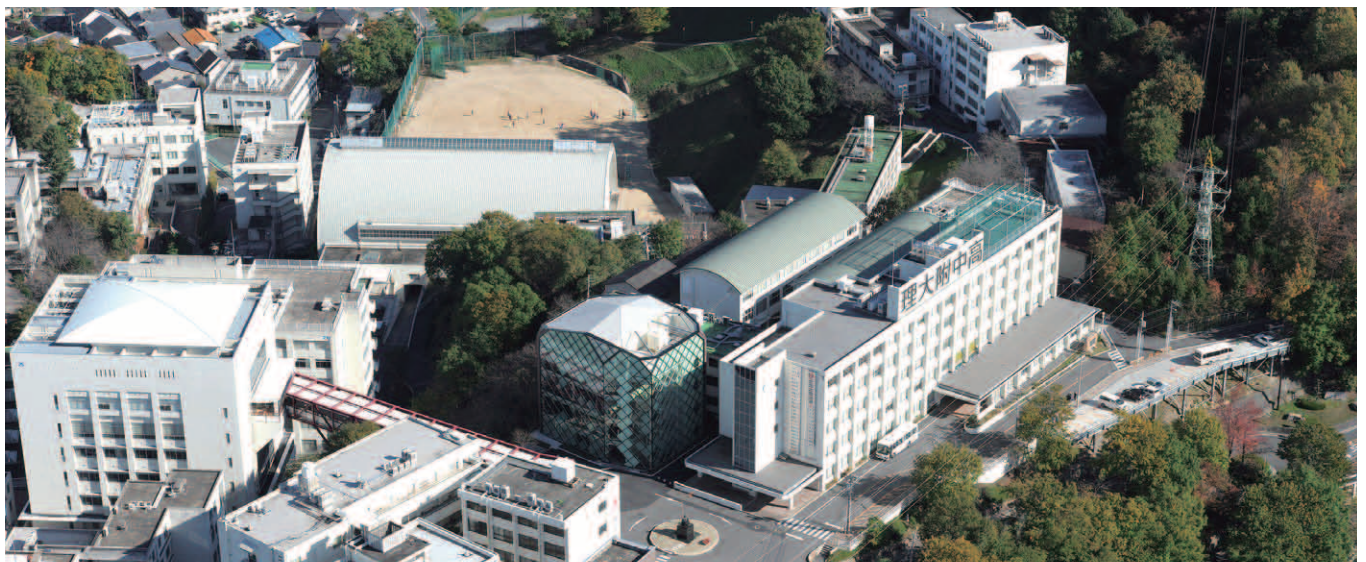
いつも在校生を見守るように立つ、故・加計勉名誉理事長像

同窓会設立50周年記念式典

- 日程: 平成27年 10月18日(日)
 - 会場: ANAクラウンプラザホテル岡山 (旧 岡山全日空ホテル)
 - 時間: 午前11時30分～
- ご参加の方は同窓会HPにて受付中です。

同窓会ホームページを開設しました
<http://www.ridaifu-dosokai.com/>

岡山理科大学附属高等学校同窓会は今年で設立50周年を迎えました。



岡山理科大学附属高等学校空撮

岡山理科大学附属高等学校の現在の歩み

岡山理科大学附属高等学校
校長 宮垣 嘉也



『薫風』同窓会発足50周年記念号の発刊おめでとうございませう。岡山理科大学附属高等学校の近況について申し上げたいと思います。

本校の校訓である「自主、努力、友愛」をより実質的に実りのあるものにするため、本年度は5つの課題を掲げ、教職員一

同その達成に向けて努力していく所存です。

その中の一つが、今年度から開設する「教育学科」の発足です。国や県の教育再生の動きにも対応して、人間力、実践的な指導力、グローバル感覚豊かな教師の卵(の卵)を育成し、大学の教育学部へ進学させることを目指しています。附属高校を代表する学科に成長させたいと教職員一同力を注ぎたいと考えています。

もう一つは、文部科学省指定のスーパーサイエンスハイスクールの発展を願っています。

最後に、同窓会の一層の

クール事業の進展です。生徒の科学的探究活動と科学的才能の発掘・伸長において多くの成果が得られ、さらに進学実績の上昇(先述の5つの課題の一つ)にもつながりました。もともと活発なスポーツ系部活動の個人技、球技などの優秀な成績と併せ、「文武両道」の理想的な形に近づいているものと教職員一同期待しています。

今後、「生徒第一主義」の立場を大切にしながら、自由な雰囲気のもと、生徒、教職員が協働して、地域からさらに信頼される高校を目指して努力を続けていきます。

最後に、同窓会の一層の発展を願っています。

私にとつての「開拓新天地」

岡山理科大学 名誉教授
加計学園道の会退職者の会会長 太田 正和



『薫風』同窓会発足50周年記念号に、こうして寄稿できることを嬉しく思います。

私と岡山理科大学附属高等学校との出会いは昭和37年、岡山理科大学附属高等学校の前身である岡山電機工業高等学校が開校した時、新人教師として赴任

したことに始まります。工事中の校舎を目の当たりにし、この現場で、故・加計勉名誉理事長との初めての出会いがありました。この出会いと、最終的に巡りつづいた教師という仕事に思いを馳せつつ、これから完成していく学校の様子と重ねあわせ、まさに「開拓新天地」との思いが湧き上がりました。開校の年に岡山国体があり、生徒会が中心となって自らマスメディアに参加することを志願。「自分たちが伝統を作るんだ」という自発

的な思いに感銘を受け、一緒に練習を重ね、本番で見事にやり遂げたことも懐かしい思い出になっています。

その後、昭和41年に岡山理科大学へ転籍。教養教育では、人間の根幹を作り、発想の豊かさを育てる人間教育の充実のため、取り組みに挑戦していきま

現在、加計学園グループを退職した人が楽しく集える交流の場「道の会」の初代会長として、役員の方々とともに「道の会」を充実したものにすべく取り組みんでいます。これからも人生経験で得たものを還元していきたいと思っています。

わが母校を振り返って

岡山理科大学附属高等学校
初代・5代(現)同窓会長 神田 修



半田山の頂にわが母校「岡山電機工業高等学校」が誕生して半世紀が経過した、半世紀前に誰が今の繁栄を予期していたでしょうか。創業理事長の「故・加計勉先生」の当時の胸中は、今以上の隆盛と繁栄は当然ながらのことであり、まだまだ物足りないとも聞こえてくるように

思えます。

実習場をわか作りの入方式々場とし、何も無いところから「教職員・生徒」が一丸となって、「どこにも無い、今までにない、そんな学園を築いていきたい」。このような思いは私だけでなく教職員・生徒全員が共有していたように思い返されます。だからこそ、校門もグラウンドも体育館も図書館も無い…、あるものを数えただけが早いところから創造する喜びとは何かと教えていただいたように思います。

同窓会設立50周年にあたって

岡山理科大学附属高等学校同窓会
会長 代 理 瀬戸 昭次



び神田修氏が5代会長を務めています。この10月には設立50周年記念式典も予定しています。私は1963(昭和38)年、岡山理科大学附属高等学校の前身である岡山電機工業高等学校の二期生として入学しました。当時は校舎が1棟と実習室のみでしたが、学校生活は新鮮でした。充実していました。故・加計勉名誉理事長をはじめ、教職員全員がエネルギーで、加計先生の大きな声は今も鮮明に思い出されます。加計先生は自

以来、岡山理科大学附属高等学校は多くの同窓生を輩出し、私の入学当時からは考えもつかないような発展を遂げてきました。同窓生の活躍を耳にする

ら教鞭をとることもあり、私も教えていただいたことがありますが、その声は学校中に響き渡るような躍動感にあふれていました。あの頃は高度経済成長期の最中で、今の時代の流れとは違ったスピード感があったと記憶しています。

ソフトテニス部

待望の全国制覇なるか!?

ソフトテニス部は、6月のインターハイ予選団体戦で男子が優勝。個人戦でも川口真穂君・



杉山奨悟君ペアが優勝。ベスト8に入った6ペアがインターハイに出場することになった。またハイスクールのジャパンプでもシングルスで上松俊貴君が優勝した。彼は中学3年生の時からナショナル

チームのメンバーに選ばれている期待のホープだ。このほか、全国日本私立高等学校選抜ソフトテニス大会でも男子が団体優勝を果たしている。一方、女子は惜しくもインターハイ出場とはならなかった。

岡山理科大学附属高等学校の卒業生でもある監督の大橋元司先生はソフトテニス部を全国的な強豪に育て上げた。「大人ときちんと会話できる人間になり、と指導しています。将来、卒業して羽ばたいていく上で、コミュニケーション能力が絶対不可欠。普段から生徒に『大人に早く近づきなさい』と言っています。とにかく大きな人間になってほしい」と語る。

女子柔道部

冬のインターハイ出場!

柔道部が久しぶりにインターハイ出場を決めた。10年位前から他校が留学生や他県からの生徒を集めて強化していて、なかなか太刀打ち出来ないという状況の中、岡山の子を県の代表にしたいとの思いがあった。4年前、中学校に有望な女子生徒が入学した。それが今回インターハイ出場を決めた中山恵理さんである。中学生の時から高校生に混じって練習するという中高

一貫で効果的な指導のもと、着実に力をつけてきた。この3月の全国大会では5位(ベスト8)に入っており、どれだけ頑張れるか周囲から期待されている。

監督の有吉智之先生は柔道部で長く指導。生徒の成長を見守りながら、勝ち負け以上に人間教育の修養に力を注いでいる。そして今年女子柔道部が創部して25周年にあたり、10月17日



県総合体育大会で優勝した中山恵理さん(前列中央)

(土)にはOBを交えた記念の祝賀会が開催される。

野球部

センバツとOBの活躍!

第87回選抜高校野球大会に出場。久しぶりの甲子園。千葉の木更津総合高校と対戦するも、健闘及ばず初戦で姿を消した。

試合当日アルプス席は満員。たくさん応援団が甲子園に集まり、生徒・教師・OBなど、学校がひとつになった。「試合当日はアルプス席いっぱいに応援団が来てくださいました。同窓会のみなさんのバックアップには心から感謝しています」と部長の安田貴志先生。

野球部関係ではほかに、野球部OBの活躍が目覚ましい。昨年ドラフト会議で2位指名を受けて広島東洋カープに入団した、野球部OBの藪田和樹投手が、先日巨人戦でプロ初先発初勝利を挙げた。3年前の高田知季選手、2年前の九里亜蓮選手、そして藪田投手と続き、3年連続で卒業生がプロ野球選手として活躍。さらに柴田竜拓選手、藤岡裕大選手が全日本・侍JAPAN大学代表に選出され



センバツ甲子園開会式での堂々たる行進

テニス部

春夏連続全国ベスト4入り!

6月に行われた岡山県総合体育大会で、テニス部は団体シングルス(楠原悠介君・合田健人君・高坂裕也君)・ダブルス(所司雄大君・吉松瑞生君)ともに優勝。個人戦でもシングルス優勝(楠原悠介君)、準優勝(高坂裕也君)、3位(合田健人君)、ダブルス優勝(楠原悠介君・高坂裕也君)、準優勝(所司雄大君・吉松瑞生君)と上位を独占した。その後、中国高校テニス大会でも3冠を達成。さらにインターハイではベスト4に入った。春の全国選抜大会に引き続き、春夏連続で全国ベスト4入りという快挙を成し遂げた。

監督の松村道則先生は岡山理科大学附属高等学校のOB。「私が現役の時、テニス部が



県総体で団体、個人(シングルス、ダブルス)で優勝し3冠を獲得した楠原悠介君

初めて全国ベスト8に入りましたが、もっと上のレベルになりたい、そう思いながら監督として取り組んできました。日々の練習で自分の足りない部分や試合で出た反省点など各選手が課題を見つけ、考えながら練習に取り組んでいる。

平成27年度 同窓会役員一覧

顧問

神田 修 (昭和40年・北九州市八幡区)

高瀬 俊治 (昭和40年・新見市)

瀬戸 昭次 (昭和41年・岡山市北区)

福家 寿樹 (昭和56年・岡山市中区)

神田 修 (昭和40年・北九州市八幡区)

副会長 横田 博臣 (昭和40年・総社市)

山崎 唯芳 (昭和43年・岡山市北区)

杉安 一彦 (昭和55年・岡山市北区)

瀬良 道訓 (昭和60年・岡山市北区)

事務局長 埴見 宣明 (昭和55年・岡山市北区)

事務局長代行 和氣 晃一 (昭和63年・岡山市北区)

川上 輝夫 (昭和41年・岡山市北区)

親 健一 (昭和62年・総社市)

会計監査 田原 良策 (昭和41年・岡山市南区)

丹原 信之 (昭和41年・岡山市北区)

理事

出井 潔晴 (昭和40年・備前市)

河口 嘉津己 (昭和40年・新見市)

三宅 啓一 (昭和40年・岡山市北区)

加藤 哲一 (昭和41年・玉野市)

畑 貞夫 (昭和42年・岡山市南区)

池田 正行 (昭和42年・岡山市北区)

本徳 昭義 (昭和44年・赤磐市)

木畑 廣伸 (昭和44年・岡山市中区)

竹上 秀樹 (昭和44年・岡山市北区)

木村 方春 (昭和54年・倉敷市)

香本 豪彦 (昭和55年・岡山市東区)

山崎 勇一 (昭和55年・岡山市東区)

佐藤 和也 (昭和56年・岡山市中区)

葛原 清彦 (昭和57年・広島福山市)

柴田 安起 (昭和58年・岡山市東区)

村上 典生 (昭和58年・岡山市東区)

八田 哲夫 (昭和60年・岡山市南区)

安田 直哉 (昭和60年・岡山市東区)

葛城 知彦 (平成13年・岡山市北区)

平田 祐己 (平成13年・岡山市中区)

中原 幹治 (平成14年・倉敷市)

北村 裕人 (平成16年・倉敷市)

松永 壮太郎 (平成20年・東京都台東区)

評議員

福本 琢之 (昭和55年・倉敷市)

田淵 和孝 (昭和58年・倉敷市)

姫野 厚志 (昭和58年・岡山市東区)

安井 典之 (昭和61年・岡山市北区)

高北 博文 (昭和62年・総社市)

山本 昌平 (昭和62年・岡山市東区)

岡本 俊明 (平成2年・赤磐市)

曾我井 愛次郎 (平成3年・都窪郡早島町)

田中 浩一 (平成4年・岡山市北区)

難波 周平 (平成4年・岡山市北区)

松原 日善 (平成12年・岡山市北区)

森前 健 (平成14年・岡山市中区)

守屋 雄太 (平成16年・倉敷市)

中島 隆輔 (平成17年・岡山市北区)

今村 陽介 (平成18年・岡山市北区)

櫻井 翔太 (平成21年・岡山市東区)

佐藤 卓斗 (平成24年・岡山市中区)

中島 悠太 (平成25年・倉敷市)

岡山理科大学附属高等学校 進路状況

【大学合格実績(過去5年間)】

◎国公立大学

東京大学、大阪大学、九州大学、北見工業大学、群馬大学、富山大学、横浜国立大学、静岡大学、京都工芸繊維大学、奈良女子大学、三重大学、神戸大学、岡山大学、広島大学、山口大学、鳥取大学、鳴門教育大学、香川大学、徳島大学、愛媛大学、高知大学、九州工業大学、宮崎大学、釧路公立大学、岡山県立大学、県立広島大学、福山市立大学、下関市立大学、鳥取環境大学、愛媛医療技術大学、高知県立大学、高知工科大学 (ほか)

◎文部科学省所轄外 防衛大学校、水産大学校

◎私立大学

早稲田大学、明治大学、慶應義塾大学、東洋大学、中央大学、法政大学、日本大学、駒澤大学、東海大学、立教大学、創価大学、多摩美術大学、北里大学、玉川大学、二松学舎大学、桜美林大学、専修大学、東京女子大学、東京女子体育大学、東京農業大学、東京理科大学、亜細亜大学、日本体育大学、神奈川大学、関東学院大学、横浜美術大学、中京大学、名城大学、愛知学院大学、関西大学、同志社大学、立命館大学、関西学院大学、龍谷大学、京都産業大学、同志社女子大学、京都外国語大学、大阪芸術大学、関西外国語大学、近畿大学、大阪薬科大学、大阪体育大学、甲南大学、神戸薬科大学、川崎医療福祉大学、就実大学、ノートルダム清心女子大学、岡山理科大学、倉敷芸術科学大学、千葉科学大学、吉備国際大学 (ほか)

【主な就職先実績(過去2年間)】

(株)IHI相生事業所、旭電業(株)、(株)きんでん、親和パッケージ(株)、JFEスチール(株)、JFE鋼板総合サービス(株)、ダイハツ工業(株)本社、(株)DNPアドバンスオプティクス、(株)DNP住空間マテリアル、(株)デンソー、(株)豊田自動織機、東亜工業(株)、西日本旅客鉄道(株)、三井造船(株)、ヤンマー農機製造(株)、(株)ユーコム、両備ホールディングス(株)、カモ井加工紙(株)、菅公学生服(株)、中四国セキスイハイム工業(株)、トヨタ自動車(株) (ほか多数)

同窓会名簿の発刊について

同窓会設立50周年を記念して、新たに同窓会名簿を発刊予定です。名簿を有料にて提供させていただきます。50周年式典でもお配りさせていただく予定です。現在、掲載の可否をHPにて受け付けておりますので、ご確認ください。

個人情報の取扱について

岡山理科大学附属高等学校同窓会において、同窓会が収集する個人情報の取り扱いに関して、みなさまのプライバシーを尊重し、以下の内容で細心の注意を払っております。

《個人情報について》

同窓会では、次の情報を「個人情報」として取り扱います。①氏名(フリガナ・旧姓)②郷里住所・現住所(郵便番号・電話番号を含む)③勤務先情報(名称・部署・郵便番号・住所・電話番号)。

《個人情報の利用目的》

同窓会では、収集した個人情報を以下の目的で利用します。①同窓会(卒業生)名簿作成と会員への名簿配布(もしくは販売)。②同窓会からの案内やお知らせ及び会報誌(同窓会新聞)の送付。③岡山理科大学附属高等学校に関する活動支援。④同窓会からの寄付金募集に関する資料送付。⑤その他、総会・理事会において承認された活動。

《個人情報の提供手段または方法》

個人情報は印刷製本された名簿にて、以下の方法で提供します。①事前に注文(購入)頂いた同窓会会員に宅配便にて送付します。②名簿に広告掲載を頂いた同窓会会員に宅配便にて送付します。③その他、同窓会総会・理事会において必要と認められた場合。

《個人情報の提供停止について》

◎名簿への掲載拒否など第三者への提供を停止する場合は、同窓会事務局までご連絡ください。◎名簿発行前までに掲載拒否など第三者への提供停止を受け付けた場合は、名簿には個人情報は掲載されません。◎名簿発行後、掲載拒否など第三者への提供停止を受け付けた場合は、今後の名簿には掲載されません。

《個人情報に関する機密保持について》

①収集した個人情報については、管理者のもとに適正な管理をすることで、常に個人情報の保護に努めてまいります。②収集した個人情報は、原則として第三者への提供や開示などはいたしません。ただし、以下の場合はこの限りではありません。・会員へ配布する卒業生名簿・開示、提供について本人の同意を得た場合・個人の生命、身体、財産の保全上、緊急を要する場合・法律、官公庁の要請により開示が必要な場合③個人情報に関する業務を同窓会外に委託する必要がある場合は、機密保護、安全確保のための契約書等を委託業者との間で取りかわすなど、適切な措置を講じます。

お問い合わせ先

HPからのお問い合わせ 岡山理科大学附属高等学校同窓会 公式HP <http://www.ridaifu-dosokai.com/>

〒700-0005 岡山市北区理大町1-1 岡山理科大学附属高等学校 同窓会 Fax.086-256-8563

その他のお電話、ならびに直接ご来校いただいたお問い合わせはお受けいたしかねますので、その旨ご了承くださいませようお願い申し上げます。

会報有料のお願い

同窓会の会報誌「薫風」をお読みください、誠にありがとうございます。今後とも全力を尽くして、学園のをお伝えしていく所存でございます。そのため、発行に際してかかる諸経費の一部のご負担をお願いいたなければなりません。お一人様あたり年間3,000円のご負担で、会報を送付させていただきます。お一人でも多くの皆さんにご負担いただけることを願っています。勝手なお願いは存じますが、何卒よろしくご協力のほどお願いします。

▼長らくご無沙汰してまいりましたが、岡山理科大学附属高等学校同窓会会報誌「薫風」を発行することができました。手順を少しずつ思い出しながらの作業でした。何とか形となり、ホッとしているところです。▼今度の記念式典では、上は70歳手前から下は18歳までの幅広い年齢層の同窓生が楽しめる式典を準備していきたいと考えております。▼加計学園は、岡山理科大学附属高等学校の前身である岡山電機工業高等学校から始まりました。その後多くの大学や専門学校などを含むグループとして発展を遂げています。岡山理科大学附属高等学校には学園最初の学校として、これまで以上の発展を願っています。(会長代理 瀬戸昭次)

十 編集後記 十